

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	3500	姉妹都市宿泊助成事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒ 主な事業
施策体系	基本施策	17	交流の促進	根拠法令	旭市姉妹都市宿泊費助成金交付要綱	一般	2	1	7		☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開	32	自治体間交流の促進	戦略事業	155	旭市姉妹都市宿泊助成事業					☐ 新市建設計画
	施策の展開			戦略事業							☐ 定住自立圏構想
											☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない								
✓ 単年度繰返	平成 22 年度～	・市民がレジャーなどで姉妹都市にある宿泊施設を利用し、宿泊終了日から60日以内に申請した場合に、宿泊費用の一部を助成し、姉妹都市への訪問を促し、住民相互の交流を推奨する。 <助成対象者>市の住民基本台帳に登録されており、市税等の滞納がない者。 <助成金額>宿泊費の1/2以内で、1人1泊当たりの上限は大人(中学生以上)3,000円、小人2,250円、未就学児1,750円。 —会計年度内2泊まで 対象:長野県茅野市、沖縄県中城村(中城村は実績なし)								
	開始年度不詳									
	期間限定複数年度									
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等						
・平成21年度に廃止した旭市山の家(長野県茅野市)の代替策として、平成22年度に開始した。 ・茅野市が平成8年度から実施している旭市締結宿泊施設の利用助成金額を参考にしている。		・平成23年度の東日本大震災で市民が被災し、旅行する市民が一時減少したと考えられるが、平成25年度以降は景気回復への期待が高まっており、旅行をする市民が増えたと考えられる。		・茅野市は遠く、移動時間がかかる。助成はありがたいが、旅行は宿泊費以外にもお金がかかってしまう。 ・茅野市は空気がおおいしく、夏は白樺湖や山、冬はスキー等1年を通じて楽しめる。助成金を利用し定期的に行きたい。						

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算) 単位:千円		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1.負担金補助及び交付金	815	千円	1,157	822	874	815	1,172
2.需用費	10	千円	11	10	5	10	15
② 特定財源の内訳(1年度の決算) 単位:千円		事業費計 (A)					
1.国庫支出金		千円	1,168	832	879	825	1,187
2.都道府県支出金		千円					
3.地方債		千円					
4.その他		千円					
		5.一般財源	1,168	832	879	825	1,187

前年度増減理由	宿泊助成利用者の減
---------	-----------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

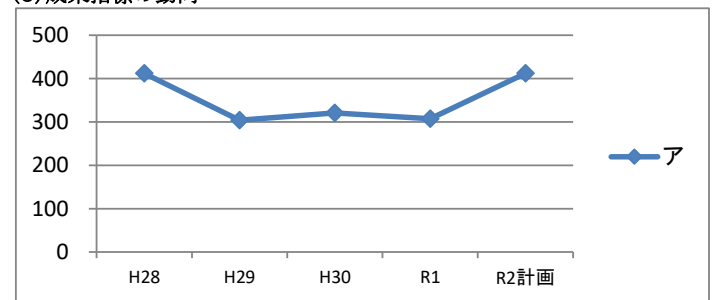
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)			ア	市HP・広報紙による広報回数	回	2	2	2	2	2
	・市広報紙、HPに事業案内を掲載 ・市内小中学生、保育所児童等にチラシを配布 ・助成金の交付			イ	チラシの配布枚数	枚	8,100	7,805	7,800	7,800	10,000
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
	対象意図	・市民		ア	助成金の交付を受けた者の延べ人数	人	412	304	321	307	412
	対象意図	・姉妹都市にある宿泊施設を利用する。		イ							

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果					
		成果向上余地			コスト比率				
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3		
施策貢献度	大きい				成果優先度 評価結果	①			
	普通		⑤			②			
	小さい					③			
				④⑤		(4)			
				⑥					
				⑦⑧					
				⑨					

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	比較	27年度 28年度 29年度 30年度 1年度
	【コメント】(低下の場合、その理由)	成果指標イ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向	ア	96 △108 17 △14 105
	③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	例年どおり実施	
			コロナウイルスの感染状況等をみて実施	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 ()		